



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
儉約家の教え 明治大学文学部教授 齋藤 孝

- 4 インタビュー／扉を開く
表現したいものは自分の中にある 現代美術家 杉本博司



- 9 地域の底力 ― 山形
地場産業の伝統技術を集積した匠の集団・「山形工房」を訪ねて
 山形県山形市・天童市



- 16 特別インタビュー
白川総裁に聞く 日本銀行総裁 白川方明

- 20 教えて！にちぎん
金融市場調節って何のこと？



- 24 貨幣の歴史学
さまざまな藩札 ―江戸期藩札の流通実態
 松山大学経済学部教授 岩橋 勝

- 28 **新連載** 日本銀行のレポートから
「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) ―2008年10月―
【基本的見解】

- 34 トピックス



- 35 **AIR MAIL from FRANKFURT**
ユーロ圏における小口決済サービス統合の動き

表紙のことば

日本銀行松山支店は、日本銀行の
 一七番目の支店として、昭和七年
 (一九三二)年に開設された。開設当
 時の店舗は、辰野金吾博士の高弟・
 長野宇平治の設計によるルネサンス
 様式風の建物。三番町の一角に位置
 する建物の背景には、松山市のシン
 ボル、松山城の雄大な天守閣がそび
 え、松山の代表的な景観として、シ
 ャッターを切り、絵筆をふるう人も
 多かったという。

戦時中は、防空対策として、白亜
 の建物全体に伊予絨(いよじゅう)の廃液を流しか
 け藍色の迷彩を施し、空襲時には職
 員による命懸けの消火活動で、幸い
 にも延焼は免れ、焼け出された金融
 機関に仮の営業場所を提供した。

そんな歴史を刻む建物も、老朽化
 が進み、昭和五十五(一九八〇)年、
 店舗の改築が決定。保存運動が展開
 されるなど保存を望む声が強く、閉
 館前の一般公開時には二九〇〇名も
 の見学者が訪れ、名残を惜しんだと
 いう。現在の店舗は、昭和五十九
 (一九八四)年に改築・完成した。

